

# 計算書類に対する注記(ひかり)

## 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
・建物、構築物、機械及び装置、車輛運搬具、器具及び備品及びソフトウェア一定額法  
・リース資産－該当なし
- (3) 引当金の計上基準  
・退職給付引当金－当法人の負担する掛金額を退職給付引当資産とし、同額の退職給付引当金を、計上する方法を用いている。  
・賞与引当金－該当なし

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

独立行政法人勤労者退職金共済機構の実施する中小企業退職金共済制度  
対象役職員 2名

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。  
会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	23,221,300			23,221,300
建物	77,269,515	5,500,000	3,895,427	78,874,088
合計	100,490,815	5,500,000	3,895,427	102,095,388

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

該当なし 円

計 円

該当なし 円

計 円

## 計算書類に対する注記(ひかり)

## 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
土地	23,221,300		23,221,300
建物	93,206,600	14,332,512	78,874,088
その他の固定資産			
建物	4,675,000	1,200,695	3,474,305
構築物	4,290,311	1,493,368	2,796,943
機械及び装置	13,857,393	3,864,372	9,993,021
車輛運搬具	3,604,200	2,881,820	722,380
器具及び備品	3,621,846	1,352,231	2,269,615
ソフトウェア	638,000	233,948	404,052
合計	147,114,650	25,358,946	121,755,704

## 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	4,534,900		4,534,900
合計	4,534,900		4,534,900

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

## 11. 重要な後発事象

該当なし

## 12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし